

みんなでも考える市町村合併

「政令指定都市の実現を目指す決議」

昨年10月25日に行われた「第2回新潟地域合併問題協議会（任意合併協議会）」で決議された「政令指定都市の実現を目指す決議」を原文のまま掲載します。

これは、今回の12市町村による合併協議が政令指定都市を目指したものであること、合併によりどのような都市を目指すのかについて明らかにし、圏域内外へアピールしていくために決議されたものです。

政令指定都市の実現を目指す決議

今日、我々を取り巻く社会経済情勢は、少子高齢・高度情報化社会の到来、国際化の進展、地球規模の環境保全に対する意識の高まりなど大きく変化している。

一方、国を初め、地方を取り巻く財政環境は依然として厳しいなかで、地方分権一括法の制定以来、地方への権限委譲が進展しており、真の分権社会の創出に向けて、自らの責任で自立した都市を目指すために、一層の努力を傾けていかねばならない。

こうした中で、我々新潟市、新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、西川町、味方村、湯東村、月湯村及び中之口村の12市町村が目指すべき方向は、現行地方制度において最も広範な権限と財源を持つ政令指定都市の実現を図ることであり、その前提となる広域合併に向けて協議を開始した。

我々は、この広域合併を通じて、魅力と活力にあふれたまちづくりを進め、政令指定都市「新潟」の実現を図ることが、産業振興による雇用の拡大、人との交流による更なる賑わい、強化された行政基盤のもとでの安定的・主体的な行政サービスの展開など、市民の福祉向上に大きく寄与することを確信する。

よって、我々は、以下の事項の実現に向けて最大限の努力を払うことを決意する。

記

- 1 広域合併を成功させ、日本海側初の政令指定都市を早期に実現すること。
- 2 住民自治の一層の充実を図り、それぞれの地域（旧市町村）で育んできた数々の優れた伝統や個性ある地域文化を尊重するとともに、地域コミュニティをさらに進展させ、地域の多様性を活かし、その魅力を発揮できる都市を目指すこと。
- 3 新潟地域が有する優れた都市機能と豊かな自然環境との調和・共存を図り、学術や研究開発の充実、空港・港湾などの都市基盤の一層の強化等により、活力にあふれた産業の集積と、国内外との多様な交流を実現し、日本海側の中枢拠点都市、さらに環日本海の国際交流拠点都市としての発展を目指すとともに、全国有数の農業基盤を活かして、先進的な取り組みにより農業の活力ある発展を図り、「田園型政令指定都市」の実現を図ること。
- 4 不断の行財政改革を行うとともに、税財源の移譲を求めるなど、自主財源の安定的な確保等を図り、真の分権社会の創出に向けて、自主的自立的な都市の実現を目指すこと。

平成14年10月25日

新潟地域合併問題協議会

市町村合併説明会

先に行われた白井、新飯田、茨管根地区の市町村合併説明会に参加された皆さんから、さまざまなご質問・ご意見をいただきました。その内容を要約してお知らせします。

Q 固定資産税は新潟市と同じになるのか。

A これらについては、今後の協議の中で決まっていくこととなりますが、現状は各市町村一律になっていないので、一気に合わせるというより、ある一定期間を要しながら合わせることも考えられます。

他に保育料や水道料なども含め、制度をどのように調整していくか、三回目の任意合併協議会で協議され、大まかな方向が出される見通しです。これらのことも含めて再度地域説明会を開催したいと考えています。

今後、任意合併協議会での協議終了後、再度合併の是非を含めたアンケートを取って、法定合併協議会に入るスケジュールになると思います。

Q 「合併により地域の伝統や文化・連帯が失われないのか」と広報しろねに出していたが、具体的にはどうにか。

A 一例を上げれば「風合戦が、なくなってしまうのか」とか「新飯田祭りが、なくなってしまうのか」といった質問がありました。合併してもこれらの行事が「むしろ

ろやりやすくなった」と言われるようにしなければならぬと思っています。

Q 合併によって、小字名や住所がどうなるのか心配。

A 字名の取り扱いは、任意合併協議会の中の協議事項です。例えば、「東町」というのは白根市と亀田町と西川町にあり、「水道町」は白根市と亀田町と西川町、それに新潟市にもあります。

こういった同じ地名が合併区域内にある場合には、協議をしていかなければならないと思っています。

Q 春の統一地方選挙により、協議が一時中断し、綿密な計画や議論ができないまま進んでしまうのでは。

A 新潟市議会においても政令市を目指すことについては議決済みです。十一市町村も従来の方向と大きな変化はないと信じています。春の統一地方選挙は、まさに合併選挙になると思っています。有権者の皆さんも、その視点でご判断いただくことも必要かと考えます。

まちの話題

ホワイトクリスマス

プラハ少年少女合唱団
クリスマス・コンサート



でもきれいで響いていました」と興奮した様子。この後、合唱団は楽器やパフォーマンスを交えながら世界のクリスマスソングを披露。だれもが知っている有名な曲では、指揮者に誘われるまま、観客も声や手拍子で参加していました。

真っ白な雪が白根を覆った十二月十日、プラハ少年少女合唱団のクリスマス・コンサートが、ラスベックホールで行われました。プラハはチェコ共和国の首都。合唱団のメンバーは本格的な音楽教育を受けた、八歳から十八歳までの少年少女たちです。コンサートは三部構成。第一部では「アヴェ・マリア」など、落ち着いたクラシックの名曲の数々が会場に響き渡りました。

続く第二部には、小林小学校の六年生と、白根第一中学校の三年生が、合唱団と一緒に二曲歌いました。ステージを降りた児童・生徒は「練習より、今日が一番いい出来でした」「間近で聴いた合唱団の声は、とっ



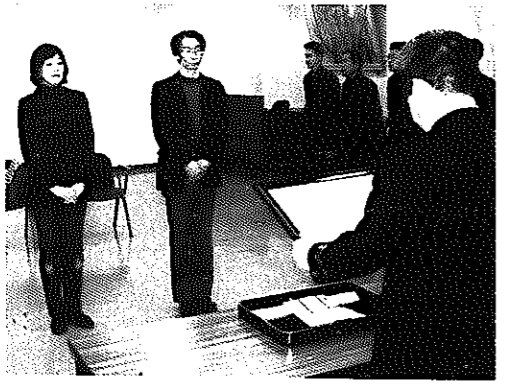
白根第一中で音楽授業を選択した3年生（前方右）と、小林小6年生（前方左）が合唱団と一緒に熱唱

触れ愛・語り愛・支え愛 小林歳末ふれあい昼食会



市内の各地区では毎年、身体障害者や独り暮らしのお年寄りを、民生委員が歳末慰問しています。そんな中、地域全体で高齢者や障害者を支えようと活動している小林地区では、皆さんを招待して大勢で楽しもうと、十二月七日「歳末ふれあい昼食会」を同地域生活センターで開催。これは、小林地区社会福祉協議会と同保健会が主催したものです。

白根地区消防本部 消防協力者に感謝状を贈呈



白根地区で起きた住宅火災に際して功労のあった、渡辺栄一さん、ひろみさん夫妻（能登）に、十二月十二日、白根地域消防本部から感謝状が贈られました。